



協定書を掲げる豊田夫婦(手前)、町農業委員会西崎会長と農業普及振興室加藤室長(奥左から)

家族経営協定書を締結

6/11

豊田朋大さん(12区)、温子さん夫婦が夫婦内での農業経営の役割分担や就業条件を取り決める「家族経営協定」を締結しました。

西北管内では、342戸が本協定を締結しており、深浦町内では豊田さん夫婦で5戸目となります。

豊田朋大さんは「1日でも早くトマトの栽培技術を身につけて、自分のトマトを多くの人に食べてもらえるような農家を目指したい。そして、農業を通じて家族と共に成長していきたい。」と抱負を述べました。

本協定は役割分担や就業条件を取り決めるだけでなく、制度上のメリットもありますので、詳しく知りたい方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

深浦町赤十字奉仕団総会及び研修会

6/12

深浦町赤十字奉仕団総会及び研修会が、町文化ホールで開催されました。

研修会では、日本赤十字社青森県支部総務課の中居氏が講師を務め、能登半島地震で災害支援を行った際の写真を用いて、実際に経験した避難所での生活、災害時に必要な備蓄品について細かく話され、参加者は災害時の備えの重要性や災害現場のリアルについて学びました。

また、炊き出し訓練も行われ、担当した大戸瀬地区団員は手際よく調理し、完成した豚汁が研修終了後に参加者に振舞われました。



災害時の簡易トイレを確認する参加者

深浦町納税貯蓄組合長会議及び連合会総会

6/16

深浦町納税貯蓄組合長会議及び連合会総会が町文化ホールで開催されました。

組合長会議では、5ヶ年以上勤務し組合長を退職された方へ山谷連合会長から感謝状が手渡されました。

総会では、山谷会長からのあいさつの後、今年度の事業計画や役員改選が行われ、承認されました。

町税の安定確保に向けて、納税貯蓄組合連合会では、町内の小・中学生を対象に納税啓蒙作品を募集し、納税思想の普及と町税の納期内完納を促進します。



表彰を受け取る秋穂さん(写真左)、神馬さん(写真右)

第2回まるっとふれあい鉄道が開催されました

6/21

障がいや年齢に関係なく、旅を通じて交流することを目的に「まるっとふれあい鉄道(能代市社協)」が開催されました。

約160人の参加者は、JR五能線の能代~十二湖間の鉄道の旅を楽しんだ後、あいにくの雨となりましたが、ブナの葉先からおちるしずくが青池に波紋を広げるやわらかく幻想的な風景を堪能しました。

また、深浦町の小学生によるダンスや、有志による手話と歌、健康体操などのレクリエーションも実施され、親睦を深めながら、助け合いの心や生き生きとした人生を送ることの大切さを学ぶ充実した時間となりました。



横断幕を掲げ参加者全員で記念撮影(十二湖駅)

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

弘前・西北五地域共同消防指令センター視察

5/21

令和8年4月1日から本格運用している弘前市の弘前・西北五地域共同消防指令センターの視察が行われました。

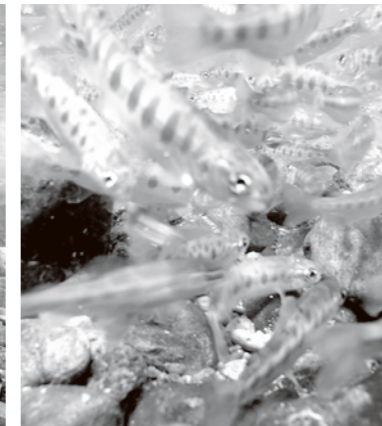
同センターは、弘前・五所川原・鱒ヶ沢地区の3消防事務組合が共同で運用し、13市町村の119番対応を担っています。視察には、平沢町長のほか、鱒ヶ沢地区消防事務組合議会議員、監査委員が参加し、同センター長による高機能指令台の機器説明や、指令員に対する質疑応答で指令センターへの認識を深めました。



センター職員から説明を受ける平沢町長(写真左)



放流直後のアユ



放流直後のヤマメ

大きく育て! アユ!ヤマメ!

5/22

アユとヤマメの資源増大を目的に、稚魚の放流が行われました。

今年の放流は5月22日から始まり、アユは鱒ヶ沢町鮎養殖施設で体長約10cm、体重約7g、ヤマメは追良瀬内水面漁協で体長約7cm、体重約4gになるまでそれぞれ飼育したものを町内の河川に放流しました。

関係者は、稚魚が健やかに成長し、豊かな水産資源として定着することを願いながら放流していました。

お花をじょうずに植えられたよ

5/28

柳田保育園の年長児が柳田老人クラブや地域の方々と一緒に柳田宮崎の国道101号線沿いの花壇に花の苗を植えました。

この花壇への植え付けは毎年行われており、園児たちは植え方を教わりながら「大きく育てね」「ずっときれいに咲いてね」などと声をかけながら、やさしく植えていました。

地域の皆さんはもちろん、ドライバーの皆さんにもぜひ見てほしいです。



教わりながら花の苗を植える園児たち